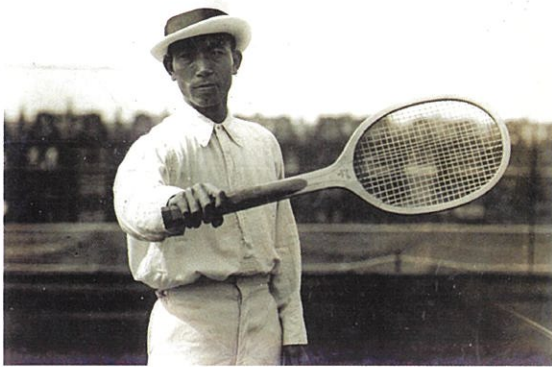


『清水善造さんを朝ドラにする会』について

テニスミュージアム委員
北里大学講師
板橋 C.マリオ



清水善造…群馬県西群馬郡箕輪村出身の男子テニス選手。1920年、日本選手としてウィンブルドン初出場でオールカマー制決勝進出(現在の準決勝)。1921年、デビスカップでチャレンジャラウンド決勝に進出

ニューズレター12号では、群馬県高崎市にできた清水善造メモリアルテニスコートの紹介をさせていただきました。今回は、その中で少しだけ触れた『清水善造さんを朝ドラにする会』について、会長の高木香保さんにお話をうかがってきました。

発足のきっかけについて

そもそも、私が「清水善造さんを(NHKの)朝ドラにしたい」と思ったきっかけは、清水善造さんのことを全く知らなかった私が、清水善造メモリアルテニスコートで『カフェゼンぶうまいぞう』を経営することになり、ある方に勧められて読んだ『やわらかなボール』のチルデン選手との伝説のシーンで雷に打たれたような衝撃を受け、滝の様に涙を流し、「こんなにすごい人が群馬にいたんだ…もっとたくさんの人に清水善造さんを知ってほしい!」と感動したことです。そして、そのためには朝ドラにするのが早いのではないかと思いつきました。な



「清水善造さんを朝ドラにする会」前列左が高木会長で後列右端が清水善三さん

ぜなら、私の前職の大同生命の創設者である広岡朝子が朝ドラの『あさが来た』で大ブレイクし、一気に有名になったのを体験していたからです。

この思いを地元紙の上毛新聞に投稿したところ、それを読んだ見ず知らずの94歳の女性が感銘を受けたと再度、上毛新聞に投稿してくださって「なんとかこの方がご存命のうちに朝ドラにしたい!」との思いから、会の発足を宣言したわけです。これが2021年の奇しくも善造さんの命日、4月12日でした。

これまで、そして今後の活動について

その後、奇跡の連続で善造さんの孫である清水善三さんとつながることができ、同年10月29日に愛媛から善三さんをお招きして、テニスクリニックと講演会、キックオフミーティングを行いました。その後、会のグループLINEを作成し、現在44名が参加しています。主なメンバーには、清水善造さんの出身校である群馬県立高崎高校や一橋大学の軟式・硬式テニス関係者、また3名の高崎市議会議員がいます。

当初、朝ドラにするためにはどのような道筋があるのか分からなかったのですが、他の自治体の成功例などを取材し、署名活動と自治体の支援が必要だということが分かりました。しかしながら、膨大な署名を集めて管理することは、個人ではできません。そこで、各種団体と協力して、このムーブメントを高崎から群馬、そして全国へと広げていきたいと考えています。その際には、全国のテニス関係の皆様にもご協力をお願いいたします。

書籍紹介

『清水善造伝』

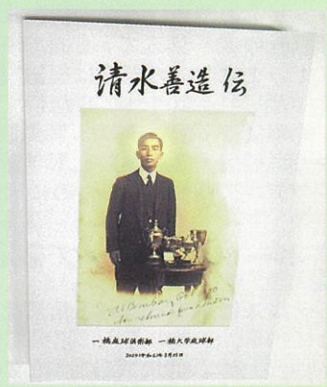
日本の大学テニス部で2番目の歴史を誇る一橋大庭球部、OB・OG会「一橋庭球倶楽部」が創部130年の記念事業として、OBである清水善造氏の伝記『清水善造伝』を今年、上梓した(236ページ)。

日本テニス黎明期の大選手の足跡や人柄などを、お孫さんの清水善三さん所有の遺品、記録、カップ類、出身地の高崎市資料などに基づき、また関係者の思い出を集め、まとめたものだ。

発刊の辞で岡田哲朗一橋庭球倶楽部会長が「清水先輩に関する文献は数多くありますが、それぞれの記述内容に相違点が少なからずあります。本誌は、これらの文献を超えて新たな伝記を築き上げようとするものではなく、また事実を特定することを目的とはしていません。清水先輩に関する資料をできるだけ多く、かつ多角的に提示することにより、その判断は読者の皆さんに委ねることにしたいと思います。」

そのことが、自らの自伝を残さず『教科書のやわらかなボール』は事実か?』との問いに対し、シミースマイルで明確にお答えにならなかった清水先輩の意に沿うことになるのではないかと考えるからです」と記したように、美談として語り継がれる『やわらかなボール』にも1項目を立てて考察している。

年表はじめ写真、資料が抱負で、興味深い一冊となっている。電子書籍の形態もある。



関心のある方はメールにてお問い合わせください。
アドレス:zenzodenhtc@gmail.com

令和5年度『特定寄附金テニスミュージアム』会計報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

前期末残高(令和5年3月31日)	45,906,987円
令和5年度寄附金額	1,507,500円
令和5年度委員会活動費	10,628,002円
令和5年度末基金残高	36,786,485円

令和5年度テニスミュージアム委員会活動報告

■主な活動

新WEBデータシステムへの史資料データ移行/史資料寄贈受け入れ
所蔵する史資料への問い合わせ・貸出対応/常設ミュージアム実施業務
ニューズレターの制作・発行/委員会のリモート会議の開催など

■テニスミュージアム委員会

委員長: 吉井 栄 副委員長: 中川智文
常任委員: 武内 勝、後藤光将、小林やよい、越智和夫、清水伸一
委員: 我孫子和夫、小沢 剛、塚越 巨、渡邊康二、金森 悟、福池 泉、板橋 C.マリオ、藤岡興平